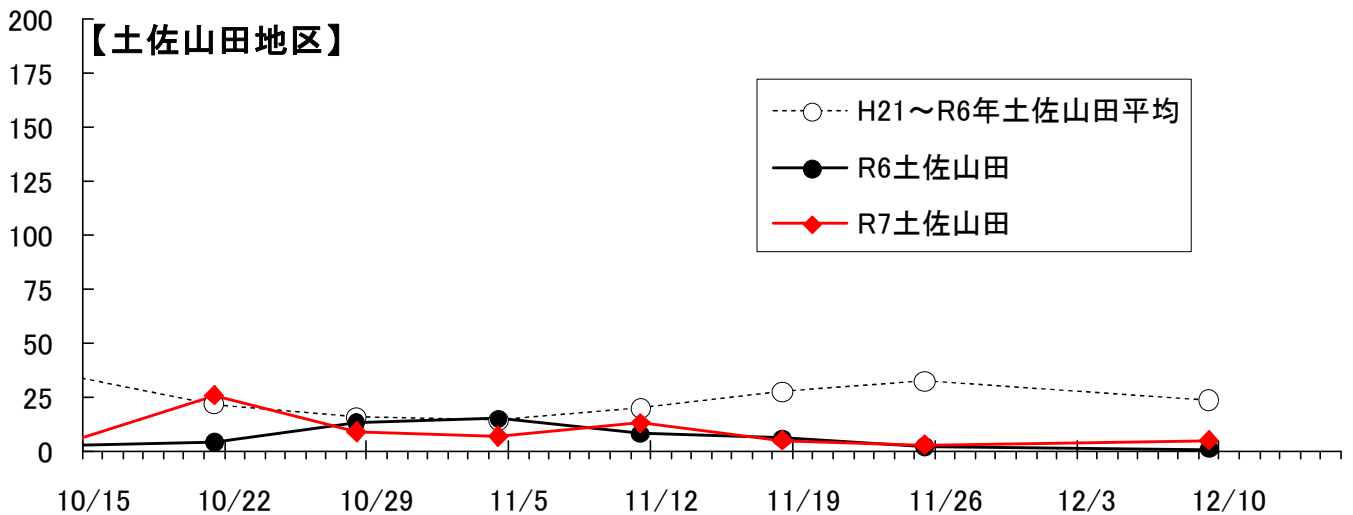
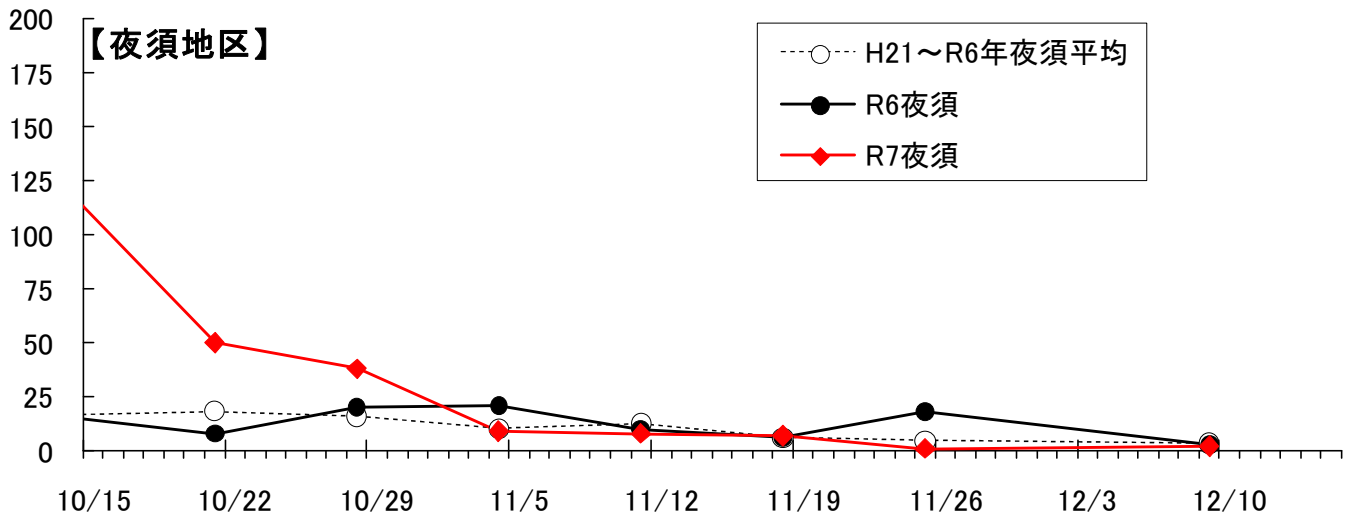
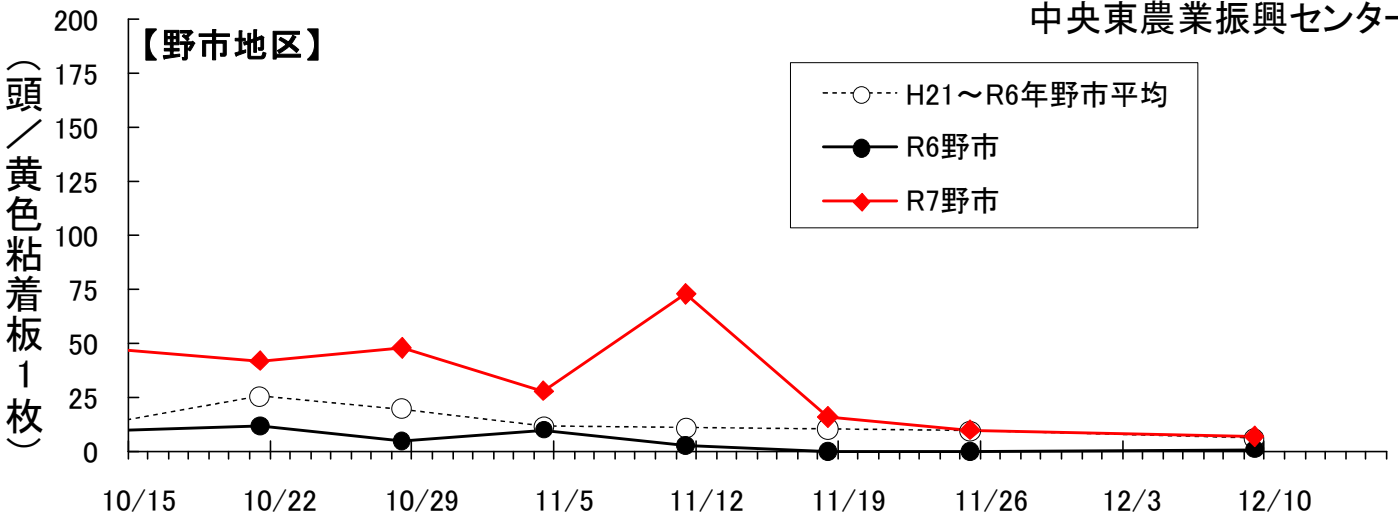


# アザミウマ類の野外発生状況

R7年12月9日調査  
中央東農業振興センター



設置場所について: 野市地区、夜須地区、土佐山田地区のニラほ場付近(各地区1地点)

✓ アザミウマ類は種によって差はありますが、成虫の生存期間は50日前後で、「1サイクル(卵期～成虫期)」は10～20日程度です

✓ 平均気温が20～25℃の条件下では、捕殺数が急増することがあります

捕殺数はいずれの地区でも低密度で推移しています。一方で、ハウスの中ではアザミウマ類の被害がみられますので、ほ場をよく観察し、早めの防除を心がけましょう。

また、厳寒期に入り、内張りの展張やハウスを閉め切る時間が長くなると、ハウス内湿度が高い状態が続きます。このような条件下では病害の発生も増えてきますので、病害防除も行っていきましょう。